

「謹賀新年」

学生の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

今回の「こじょうライブラリー」は、お正月に関連するお話の特集です。

◆ 餅つき

日本には稻作信仰というものがあり、稻は「稻魂」や「穀靈」が宿った神聖なものだと考え、崇められてきました。稻から採れる米は人々の生命力を強める

神聖な食べ物であり、米について固める餅や米から醸造される酒は、とりわけ力が高いとされています。そこで、祝い事や特別な日である晴れの日に、餅つきをするようになりました。

◆ お年玉

お年玉の語源は、正月に歳神を迎えるために供えられた丸い鏡餅が家長によって子供に分け与えられ、その

餅が「御歳魂」と呼ばれたことから、とする説があります。つまり、その年を1年間を生きるために必要な歳神の靈

魂=生命を子供に分け与えることで子供の無事な成長を願う、という宗教的な意味です。

◆ 凧あげ

正月遊びとしての凧あげには意味があり、天高くあげて子供の健康・成長を願うというものです。かつて正月を含む冬休みには、子どもたちが凧あげをする光景がよく見られ、玩具店のみならず子供たちが買い物をする駄菓子店や文房具店などでも凧は販売されていました。特に凧あげが盛んに行われてい

た1970年代には、電線などにひっかかるトラブルが多発したほか、安全にできる広い場所が減ったこともあり、徐々に凧あげも少なくなりました。

(出典:フリー百科事典「ウィキペディア」)

※本や読書にまつわる投稿を700字程度でお寄せください。詳しくは事務室まで
なお、本の寄贈については現在受け付けておりませんので、ご了承ください。